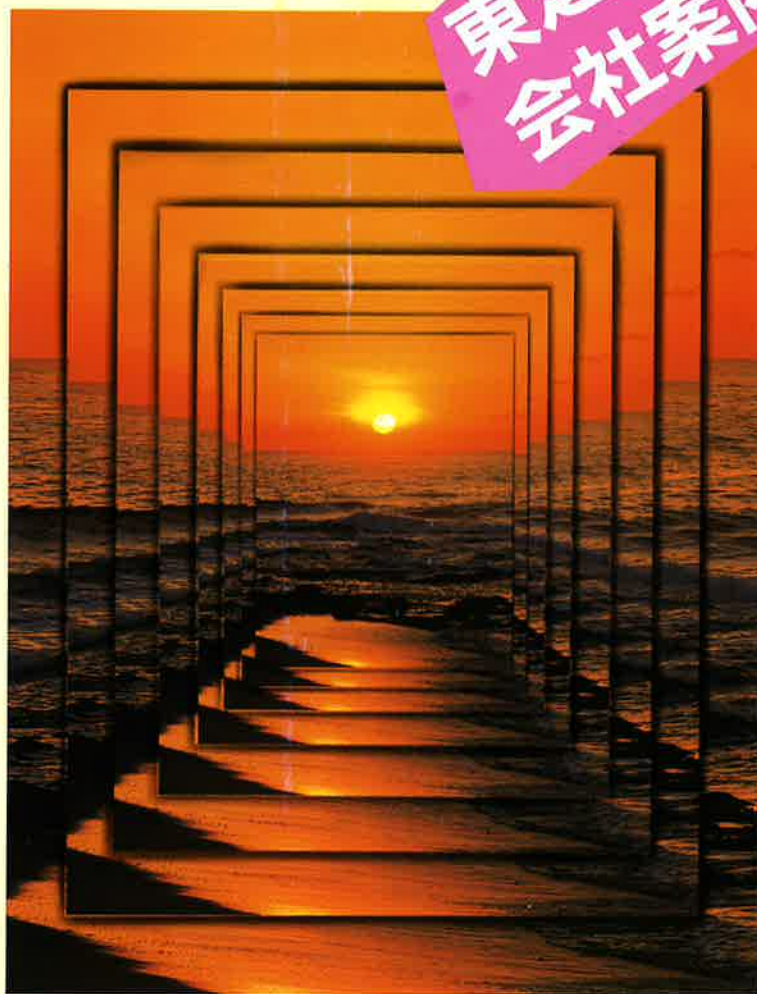
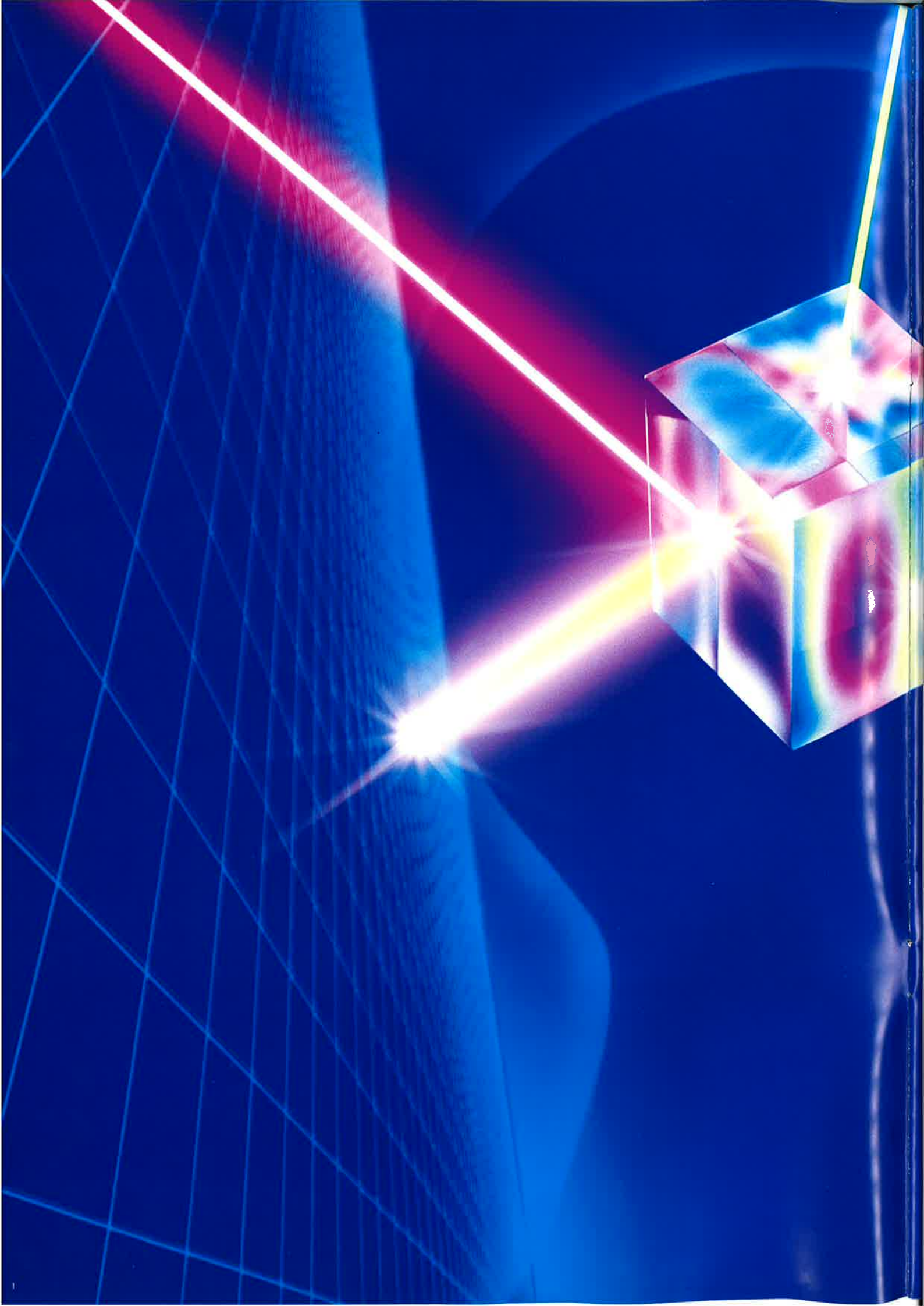


TOSHIBA

**東芝硝子株式会社
会社案内**







技術で未来と対話する…東芝硝子

暮らしのあらゆる視点から 先進技術で時代のニーズをカタチにします。



取締役社長 相原 弘 永

日本における電球用ガラスの歴史を拓いて以来、当社は“ガラス製品を通じて社会に役立つ”ことを企業の基本理念としながら、業界のパイオニア的存在として着実な事業展開を推進してまいりました。そして創業以来、高度な『製品開発技術』、充実した『生産設備』、積極的な『チャレンジ精神』という3つの要素を高い水準でバランス良く調和させ、つねに時代をリードする製品づくりを行なってまいりました。現在では80余年におよぶ長い歴史の中で育まれてきた確かなノウハウをベースに最新のテクノロジーを結集し、多彩な分野ですぐれた製品をお届けしています。

しかもハードディスク用ガラスや世界に先駆けて開発したバリウムフェライト磁性粉などの新素材分野をはじめ、エレクトロニクス、医療、原子力分野といった次世代を担う産業を密接にサポートする新技術、新製品を数多く生み出しております。

また、高い品質によって裏付けられた高度な技術力は海外においても高く評価され、さまざまな製品、あるいは活発なプラント輸出・技術輸出というカタチで、信頼性の輪は全世界に広がっています。

21世紀に向かって、その応用領域がますます注目されるガラス。当社はハイクオリティな技術にさらに磨きをかけ、ガラスの新しい可能性を大きく切り拓いてまいります。これからも、わが国産業の発展の一翼を担うため、一層の努力を重ね、社会に貢献してゆく所存です。何とぞ、あたたかいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

社会とともに、時代とともに
技術も成長しています。



コンピュータコントロールセンター

明治35年、当時の東京電気株式会社(現在の株式会社 東芝)が、東京・品川に電球ガラス製造のため硝子製造所を設立し、わが国で初めて電球用ガラスの生産を開始したのが当社の始まりです。その後、照明用ガラスを中心とした各種ガラス製品、光学ガラス、理化学用硬質ガラス、体温計などを開発・製造し、業界をつねにリードしてきました。そして昭和25年、集中排除法によりガラス3工場が東芝から分離されそれぞれ関連会社として独立しました。昭和53年、東芝の硝子部門と関連会社が合併し、「東芝硝子株式会社」として新たな一歩を踏み出しました。

そして生産体制の効率化、技術の向上を図りながら徹底した品質管理のもとに多様化する時代のニーズに対応して、さまざまな製品を提

供してきました。いまでは照明用ガラス、家庭用品用硬質ガラス等に加えて最新エレクトロニクス技術を駆使した電子体温計、光学分野で需要が増大しつつある蒸着製品、さらには医療・原子力分野で大きな注目を集めている蛍光ガラス線量計など最先端の技術で広範囲な分野をカバーし、特殊ガラスの総合メーカーとして着実に前進を続けております。

また東芝グループの一員として、その新素材分野を担い、来たるべき21世紀に向け、従来のガラスのイメージを一新する新製品、新技術を次々と開発しています。高度な技術から生まれるすぐれた製品、そして販売ルートや研究・開発など東芝グループ各社との相互協力によってさらにパワフルな事業展開を推進してゆきます。これからも、東芝硝子にご期待ください。



暮らしをあざやかに演出する明かり。 多彩な分野で幅広く活躍しています。



私たちの毎日の暮らしに欠くことのできない照明用ガラス。当社の一般電球用バルブや蛍光灯用チューブは長い歴史の中で蓄積された確かな製造技術と最新鋭のFA(ファクトリー・オートメーション)設備、そして徹底した品質管理により、つねに安定したクオリティを誇っています。また高度な真空蒸着技術により製造されるハロゲン電球用ガラスミラーは小型で高照度を得られる新しい光源用として店舗照明用をはじめ多くの分野で注目を集め、世界各地のランプメーカーへも大量に輸出しています。さらにすぐれたデザインのインテリア照明用ガラスはこれからの生活を豊かに演出するため、ますます重要な役割を担っています。

■主要製品

照明用ガラスバルブ

- 一般電球用バルブ
- 自動車小型電球用バルブ
- 水銀灯用バルブ
- 反射型電球用バルブ

照明用ガラスチューブ

- 蛍光灯用チューブ
- ネオン・ヒューズ管用チューブ
- 健康灯用チューブ
- 殺菌灯用チューブ
- 光合成反応管用チューブ

電球・蛍光灯用フレア・エキゾーストチューブ

- ハロゲン電球用ガラスミラー
- インテリア用ガラスグローブ



車の個性化や屋外照明の多様化に すぐれた信頼性を発揮しています。



これまでの自動車用大型レンズ(異形レンズ)の限界を大きく打ち破った一体成形による『回り込みレンズ』。当社は異形レンズのトップメーカーとして、独自のガラス金型技術とプレス成形技術を駆使して、世界で初めて開発に成功しました。カーデザインの個性化、エアロダイナミクス(空気抵抗対策)による省エネ化など多くのメリットをもたらす新技術として、自動車メーカー各社から大きな関心が寄せられています。また当社の屋外照明用ガラスグローブは、正確な配光が得られるよう設計され、しかも高度な耐久性を有し、道路、街路、空港、港湾などさまざまな場所でひとびとや社会の安全に貢献しています。

■主要製品

自動車前照灯用ガラス

- 自動車用大型レンズ(異形レンズ)
- シールドビーム型電球用ガラス
- セミシールドビーム型電球用レンズ

屋外照明用ガラスグローブ

- 道路灯用グローブ
- 街路灯用グローブ
- 防犯灯用グローブ
- 標識灯用グローブ
- 投光器用グローブ





新鮮な情報を「原料」にして 暮らしに直結した製品をお届けしています。



家庭電気製品として、またキッチンウエアとして食生活や暮らしと密接な関わりを持っている家庭用品用ガラス。当社では、厳選した原料を使用し、厳しい品質管理システムのもとで全自動成形方式によって生産しています。このためすべての製品はつねに一定した高い品質を実現。透明度が高く、熱や化学的な耐久性にすぐれ、しかもプラスチック製品に比べキズや異物がつきにくく清潔であるという数々のすぐれた特性を備えており、全国のご家庭で幅広く愛用されています。



■主要製品

電子レンジ用棚板ガラス

ジュース・ミキサー用ガラスボトル

耐熱ガラス食器

●コーヒーマーカーボトル

●鍋蓋

●ティーサーバー

●フリーザーポット

●大皿・小皿・ボール等各種食器

積算電力計用カバーガラス

ストーブ燃焼筒用ガラス





やさしい、ぬくもりの技術で ひとびとの大切な財産「健康」を支えています。



健康ライフの大切なバロメーターとなる体温。当社は、古く大正9年に体温計の生産をスタート、以来当社の体温計は家庭における健康管理や病院での診療をサポートする重要な医療器具として大きな役割を果たしてきました。硝子体温計では一般用の他、婦人用、子供用、病院用など用途に合った各種体温計を製造しており、独自の技術によって水銀が青く見えるように工夫した画期的な製品「ネオブルー」や落下破損時に水銀やガラス破片の飛散を防止した「樹脂コート体温計」などを世に送り出し、トップメーカーとしての地位を築き上げてきました。そして昭和55年には最新のLSI技術を駆使した電子体温計に着手。検温精度 $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ (婦人用は $\pm 0.05^{\circ}\text{C}$)、見やすいデジタル表示、検温時間を電子音で知らせるなど多彩な魅力を備えた最新鋭の電子体温計をお届けしています。

■主要製品

平型硝子体温計

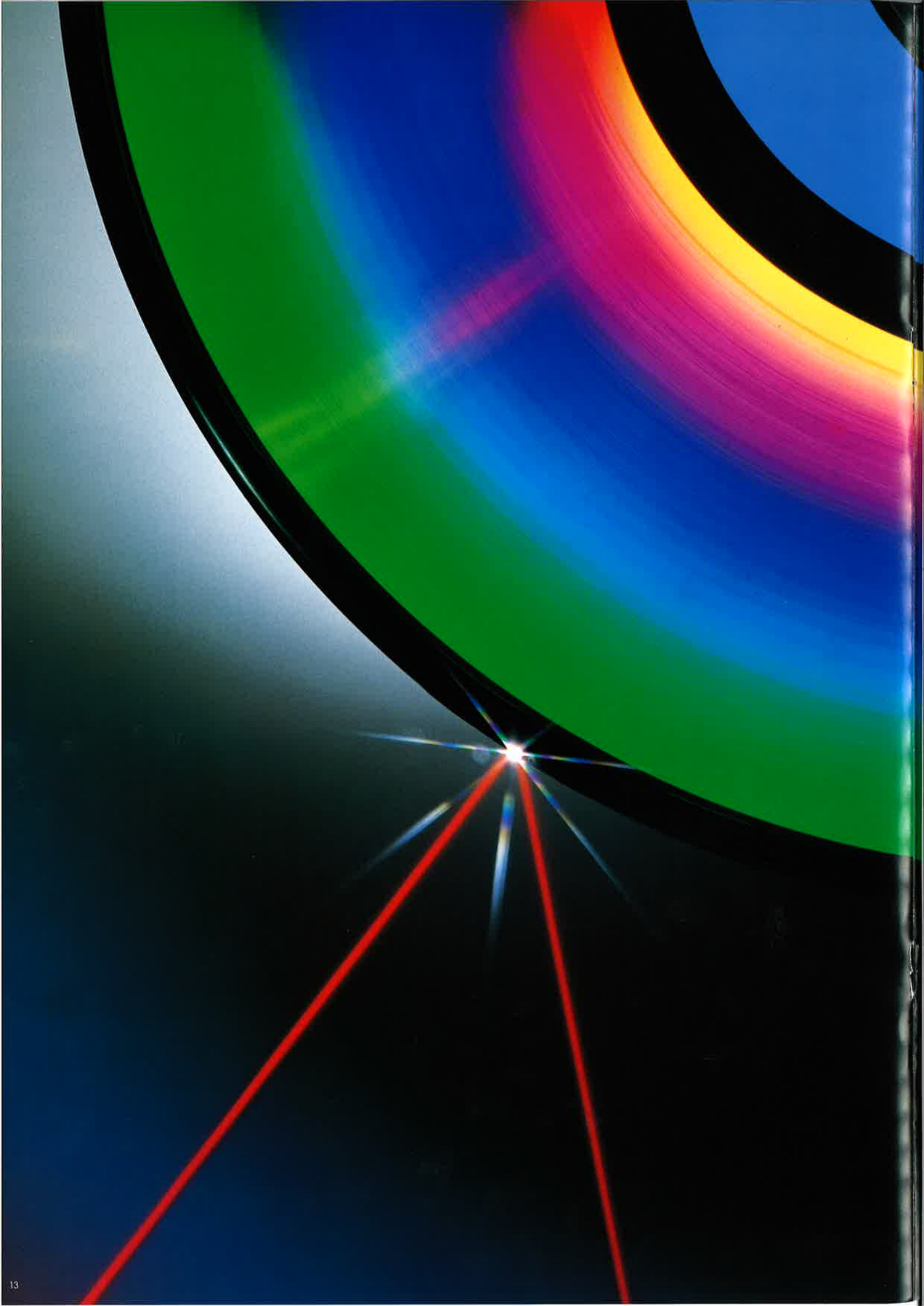
- 一般用「ネオブルー」
- 婦人用「ネオブルー・レディ」
- おこさま用「ネオブルー・チャイルド」
- 病院用「樹脂コート体温計」

電子体温計

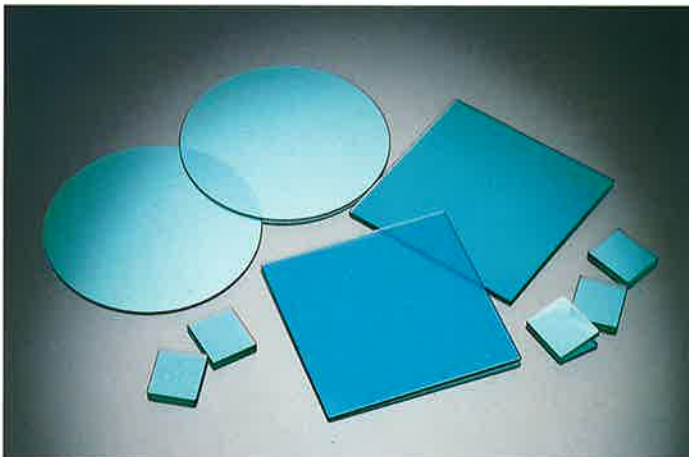
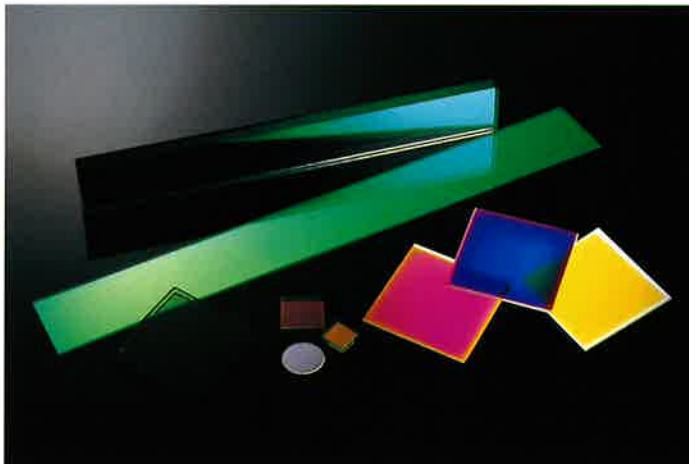
- 一般用体温計(ブザー付)
- 婦人用体温計(OV値換算機能、ブザー付)
- 病院用体温計(浸漬消毒可能)

棒状硝子体温計

- 一般用体温計
- 獣医用体温計
- 未熟児用体温計



ますます広がる高度情報時代。 ハイテクノロジーでその一翼を担っています。



エレクトロニクス技術の発展にともない、OA機器や光学・精密機器は驚くべきスピードで進歩しています。この高度情報時代の一翼を担うのが当社のハイテクノロジーです。たとえばコンピュータに使用されるハードディスクのガラス基板。寸法変化が少なく表面平滑性や加工性にすぐれ、しかも高密度メモリを可能にした新しい記録媒体として、大きな期待が寄せられています。また独自の技術から生まれた高精度な蒸着ミラーやフィルタはOA機器、光学測定機器、医療機器、理化学機器などに不可欠な部品として幅広く活用されています。さらにVTRカメラ、露出計などの色補正に使用されるシアンブルーフィルタ、その他広範な領域で使用される各種ガラスフィルタもすぐれた品質で確かな信頼性を発揮しています。

■主要製品

ハードディスク用ガラス基板

蒸着製品

- レーザー用ミラー
- ダイクロイックフィルタ
- 近赤外線カットフィルタ
- 干渉フィルタ
- 減光フィルタ
- アルミ反射膜
- 熱線反射膜
- 反射防止膜

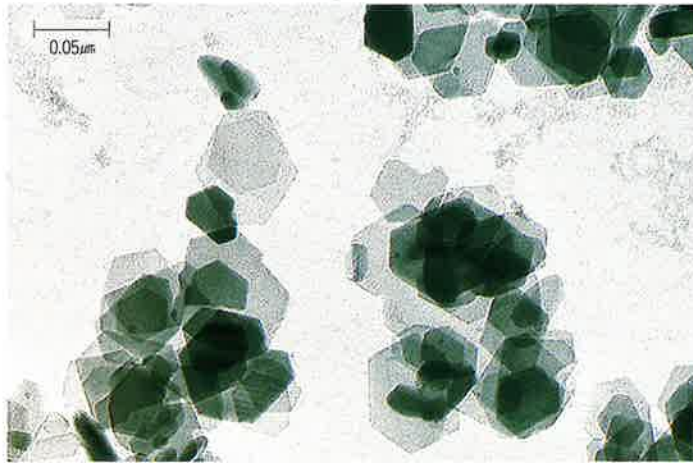
光学ガラス

- VTR用シアンブルーフィルタ
- 理化学用ガラスフィルタ
- 電子管用フェースプレート
- CCD用ガラス

写真用ガラスフィルタ



柔軟な発想と先進ノウハウの結集により 新しい応用領域を拓きます。



当社は業界のトップリーダーとして絶えずガラスの新しい可能性にチャレンジしてきました。その成果のひとつが世界で初めて開発したバリウムフェライト磁性粉です。VTR、DATの高密度記録テープや高密度フロッピーディスクなど次世代の磁気記録媒体として各方面の話題を独占しました。さらに、製造しているのは世界でわずか3社だけという放射線の量を測定する蛍光ガラス線量計も自信作のひとつ。当社では高純度ガラスから完成品の測定器までシステムとして自社内で生産し、医療、原子力などのニーズにお応えしています。また独自の組成・製造方法による溶剤ガラス(低融点粉末ガラス)は金属、ガラス、セラミックスなどの低温度封着、複合材料の接着剤として広く使用されています。

■主要製品

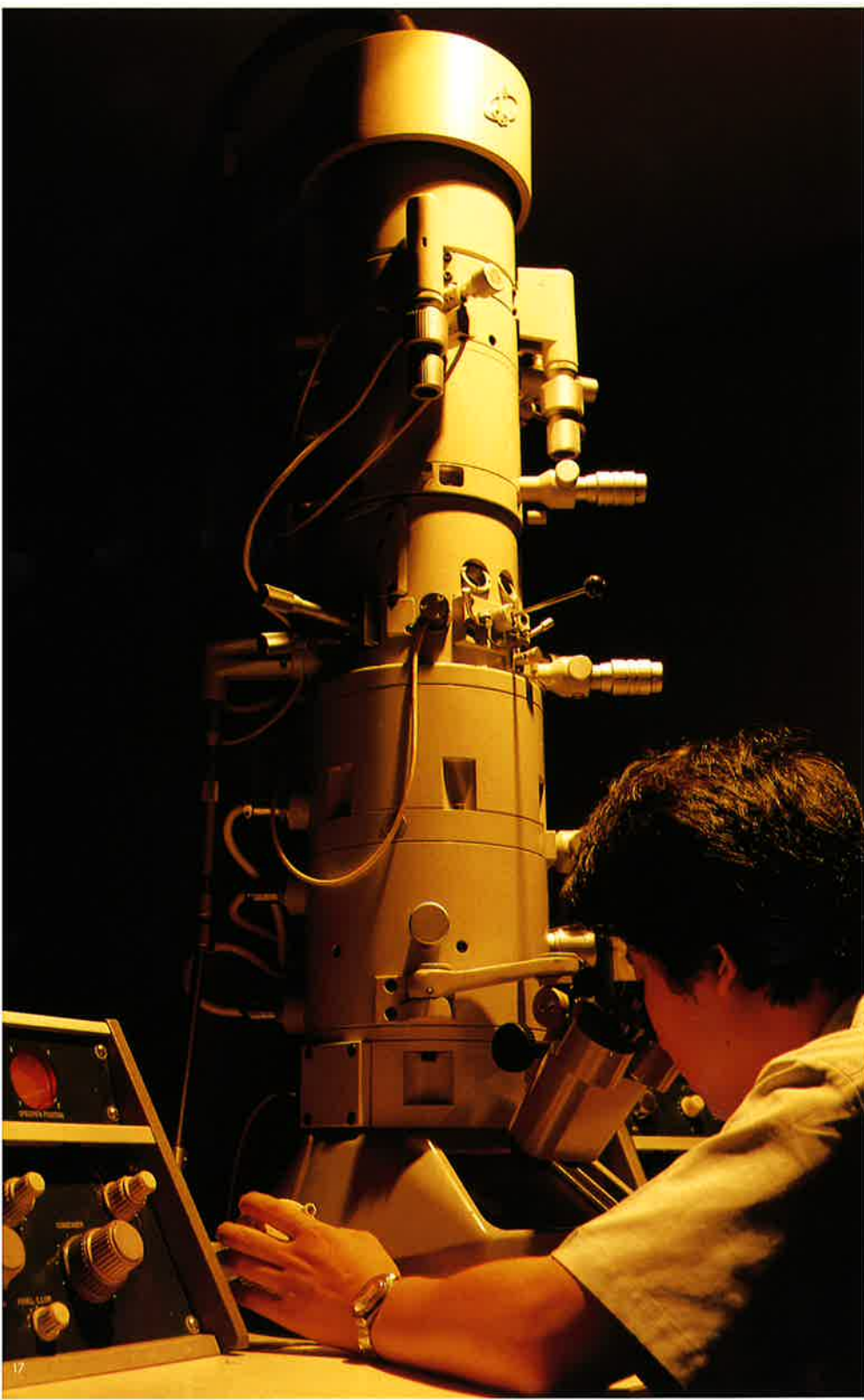
- バリウムフェライト磁性粉
- 蛍光ガラス線量計
- 各種溶剤ガラス
- 道路標識用超屈折率ガラスビーズ
- 各種標識用反射シート



ガラス業界をリードする最先端のノウハウとシステムがここにあります。

本社・静岡工場

MAIN OFFICE・SHIZUOKA WORKS



高い精度と安定したクォリティの背景には緻密で、一貫した品質管理システムがあります。当社では原料の自動調合システムから溶融、成形におけるデジタル計測制御システム、シーケンス制御システムなどコンピュータ制御による最先端技術を導入。でき上がった製品については、熱膨張係数、軟化点、応力、均質度など、自社で設計・開発された高精度な測定器でチェックされ、製造・開発部門にフィードバックされます。しかもこれらの測定器はガラスのみならずファインセラミックスやプラスチック分野など各方面で活用され、高い信頼性と評価を得ています。さらに電子体温計、電子制御回路に用いる電子デバイスなど数々の緻密な部品は、クリーンルーム内で組み立てられ、厳重な管理体制によって品質が守られています。また走査型・透過型電子顕微鏡、蛍光X線分析装置、X線マイクロアナライザ、ICAP発光分光分析装置など各種の最新解析機器を完備。新製品や新素材の研究・開発から品質管理まで一貫してこれらの機器を駆使して、つねに高い品質を実現しています。





当社の本社、そして主力工場として、最新のFA設備による生産ラインで照明用・電子管用のガラスチューブ、ガラスバルブ、蒸着製品、体温計などを製造。近年、半導体組立工場、蒸着工場、磁性粉工場を新設して力強くハイテク化を推進しています。

■主要製品

電球用バルブ、蛍光灯用・電子管用チューブ、硝子体温計、電子体温計、蒸着製品、光学ガラス、写真用ガラスフィルタ、バリウムフェライト磁性粉、蛍光ガラス線量計、ソルダーガラス、ガラスビーズほか

敷地面積 255,509㎡
建物延面積 39,853㎡



自動車ランプ用、家庭用品など 幅広いニーズに対応しています。

新潟工場
NIIGATA WORKS



当社のプレスガラス工場として活躍。成形用金型も自社生産し、また世界初の一体成形による『回り込みレンズ』を開発。さらにハロゲン電球用ガラスミラー、家庭用品など、キメ細かなニーズにお応えしています。

■主要製品

自動車前照灯用ガラス、ハロゲン電球用ガラスミラー、電子レンジ用棚板ガラス、ジューサー・ミキサー用ガラスボトル、耐熱ガラス食器、積算電力計用カバーガラスほか



敷地面積 25,632㎡
建物延面積 13,938㎡



最新のFA管理システムで 確かな満足をお届けしています。

姫路工場
HIMEJI WORKS



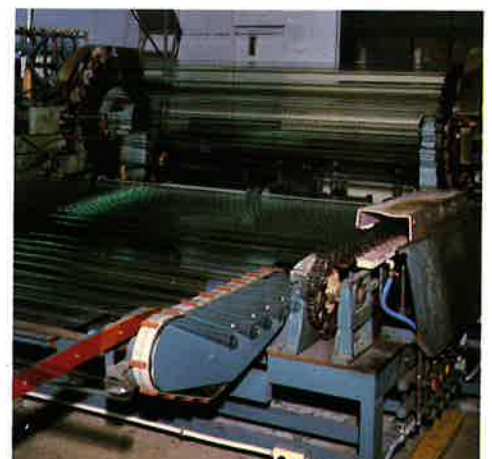
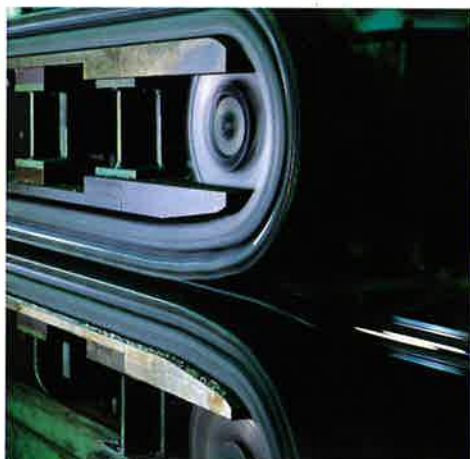
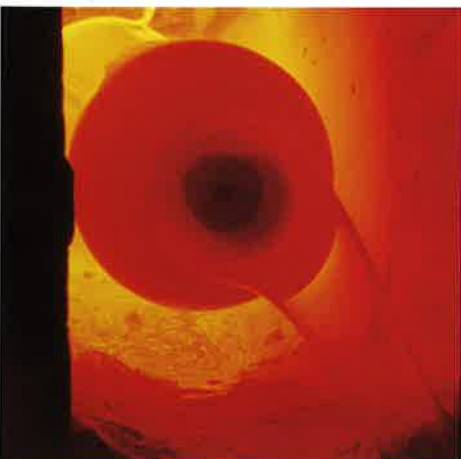
最先端コンピュータを採用した近代的なFA設備による生産システムによって、つねに高い精度と品質を実現しています。しかも一貫した大量生産技術により経済性にすぐれた製品をお届けしています。

■主要製品

蛍光灯用チューブほか

敷地面積 6,452m²

建物延面積 8,293m²



人と、世界と、時代と、 信頼の技術でコミュニケート…東芝硝子

技術で世界をネットワーク。

東芝硝子は、地球サイズで活躍しています。製品輸出については、蛍光灯用チューブ他各種チューブ類、シールドビーム型電球用ガラス、電子レンジ用棚板ガラス、硝子体温計、写真用ガラスフィルタ、交通標識などに使用される反射シートを中心に世界各国へ。また最近ではハロゲン電球用ガラスミラーや電子体温計、蛍光ガラス線量計が加わり、海外活動はますます盛んになっています。

一方プラント輸出も充実しており、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、東ドイツ、中国、イタリア、イラク、ソ連などに。また台湾、タイに合弁会社を設立するなど、これからも確かな技術の輪を世界中に広げてゆきます。

■概要

東芝硝子株式会社

発足：昭和53年4月1日

資本金：784百万円

関連会社

- 日本無線硝子株式会社
- 華芝玻璃股份有限公司(台湾)
- 株式会社 セルシヤス
- 硝子リビングサービス株式会社



■沿革

- | | | | |
|----------|-------------------------|-----------|--|
| 明治35年 3月 | 高川硝子製造所創設、電球用ガラスの製造開始 | 25年 2月 | 集中排除法により大井川工場、沼垂工場、小田栄町工場がそれぞれ東芝化成工業㈱、昭和硝子工業㈱、東芝電気硝子㈱として分離独立 |
| 38年 2月 | 深川工場新設 | 26年 | 「サークライン」用チューブの製造開始 |
| 43年 5月 | 堀川町工場内に硝子工場新設 | 28年10月 | ミキサー用ガラスボトルの製造開始 |
| 大正 6年 | 真空管用バルブの製造開始 | 29年11月 | 姫路工場内に硝子工場新設 |
| 7年 | 色ガラス、フィルタガラスの製造開始 | 30年 | シールドビーム型電球用ガラスの製造開始 |
| 8年 | 理化学用ガラス、硬質ガラスの製造開始 | 31年 1月 | 写真用ガラスフィルタの製造開始 |
| 9年 | 「ギンパ」体温計の製造開始 | 33年 1月 | 照明用ガラスグローブの製造開始 |
| 昭和 2年 2月 | ダンナーマシンによるガラス管類の製造開始 | 35年 | ストレートタイプリボンマシンによるバルブの量産開始 |
| 4年 5月 | アイバンホーマシンによる電球用バルブの製造開始 | 37年 | ガラスビーズの製造開始 |
| 13年 1月 | 「テレックス」耐熱食器の製造開始 | 42年 | ソルダーガラスの製造開始 |
| 14年 | 大崎体温計工場で「マツダ」体温計の量産開始 | 44年 7月 | 電子レンジ用棚板ガラスの製造開始 |
| 15年 | 光学ガラスの製造開始 | 45年 8月 | 反射シートの販売開始 |
| 17年 1月 | 小田栄町工場開設 | 48年 6月 | ハロゲン電球用ガラスミラーの製造開始 |
| 17年 6月 | 大井川工場開設 | 52年 4月 | 堀川町工場の硝子部門を東芝化成工業に移管 |
| 19年10月 | 沼垂工場開設 | 53年 4月 | 東芝硝子株式会社発足〔硝子事業部、東芝化成工業㈱、昭和硝子工業㈱、東芝電気硝子㈱の統合〕 |
| 22年 1月 | 積算電力計用カバーガラスの製造開始 | 53年(～59年) | ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、東ドイツ、中国、イタリア、イラクにガラス製造プラントを納入 |
| | | 53年10月 | 日本無線硝子㈱に出資し、川崎工場の製造部門を移管 |
| | | 54年 4月 | 水銀が青く見える体温計「ネオブルー」の製造開始 |
| | | 55年 3月 | 動力炉・核燃料開発事業団へ核燃料廃棄物処理プラントを納入 |
| | | 4月 | 自動車用大型レンズ(異形レンズ)の量産開始 |
| | | 11月 | 電子体温計の製造開始 |
| | | 57年 4月 | 新磁性材料バリウムフェライト磁性粉の開発 |
| | | 59年11月 | 電子体温計工場完成、普及型電子体温計の量産開始 |
| | | 60年11月 | 蒸着工場完成 |
| | | 61年 4月 | 台湾に合弁会社「華芝玻璃股份有限公司」を設立 |
| | | 62年 9月 | タイ東芝蛍光灯社へ出資 |
| | | 平成 元年 7月 | 韓国に合弁会社「韓国特殊ガラス株式会社」を設立 |



東芝硝子株式会社

〔本社〕

静岡県榛原郡吉田町川尻3583番地の5

〒421-03 TEL (0548) 32-1211(代表)

東京事務所 東京都港区新橋5丁目35番10号(森ビル新橋アネックス)

〒105 TEL (03) 438-3461(代表)

〔支店・営業所〕

大阪支店 大阪市中央区本町4丁目2番5号(近鉄本町ビル)

東芝関西支社内

〒541 TEL (06) 244-2410(代表)

札幌営業所 札幌市中央区北3条西1丁目1番(東芝札幌ビル)

東芝北海道支社内

〒060 TEL (011) 214-2593

仙台営業所 仙台市青葉区国分町2丁目2番2号(東芝仙台ビル)

東芝東北支社内

〒980 TEL (022) 264-7277 (022) 262-2941

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号(名古屋三井ビル本館)

東芝中部支社内

〒450 TEL (052) 561-0911(代表)

広島営業所 広島市中区大手町2丁目7番10号(広島三井ビル)

東芝中国支社内

〒730 TEL (082) 246-3033

福岡営業所 福岡市中央区天神3丁目9番26号

東芝福岡EDPセンター内

〒810 TEL (092) 713-6453

〔工場〕

静岡工場 静岡県榛原郡吉田町川尻3583番地の5

〒421-03 TEL (0548) 32-1211(代表)

新潟工場 新潟市日の出2丁目2番1号

〒950 TEL (025) 244-9231(代表)

姫路工場 姫路市余部区上余部50番地

東芝姫路工場内

〒671-12 TEL (0792) 74-2071